

ねんどうくろいししょうのまなびかた アイム プロジェクト

宇部市立黒石小学校
生徒指導部+3Kプロジェクト+R7運営委員会

その1 「じゅんぴへん」

(かがくねんよう)

①おうちでじゅんぴ

★れんらくちょうをみて、ひつようなものをよひします。

☆ふでばこのなかのじゅんぴをします。えんぴつをけずります。

②やすみじかんにじゅんぴ

☆かたづけをして、つぎのじゅぎょうのじゅんぴをします。

★トイレとおちやをすませたらせきについておきます。

※ちゅうかんやすみ・ひるやすみはからだをうごかして、リフレッシュしよう。

その2 「がっこうへん」

①あさとうこうしたら

★あいさつをしてきょうしつにはいります。

★かばんをかたづけ、しゅくだいをていしゅつして、れんらくちょうをかきます。

★じぶんのせきにすわってまちます。

②はじまるじこくになったら

★チャイムとどうじにもくそうし、じゅぎょうをはじめます。

☆きょうかしよをよんでせんせいをまちます。

③じゅぎょうがはじまったら

☆すわるしせいは「ゲー、ペタ、ピン！」

☆はなしをきくときは

・はなしているひとのほうをむいて、うなずきながら、さいごまではなしをききます。

☆はっぴようするときは

- ・ひじとゆびさきをまっすぐのばして、てをあげます。
- ・なまえをよばれたら、「はい」とへんじをしてたちます。
- ・きこえるこえで、はっぴようします。
- ・さいごまでしっかりといえます。

「～です。～ます。～とおもいます。」

☆ノートをかくときは

- ・ていねいなじで、みやすくかきます。
- ・だいじなところは、あかえんぴつでかいたり、せんをひいたりかこんだりします。

☆きょうかしよをよむときは

- ・きょうかしよをたてて、りょうてでもって、きこえるこえでよみます。
- ・よんでいるひとのこえをききながら、もくどくをします。
- ・よむひとは、きいているひとにつたわるように、ゆっくりとよみます。

④じゅぎょうがおわったら

★かたづけをして、つぎのじゅぎょうのじゅんぴをします。☆いすは、なかにいれます。

その3 「いえにかえったあとは・・・」

①つぎのひのじゅんぴ

★れんらくちょうをみて、つぎのひのじゅんぴをします。

★がっこうからのてがみは、かならずおうちのひとにわたします。

②これからのじゅんぴ

☆これからひつようになるものを、おうちのひととそうだしながらじゅんぴをしておきます。
(れい) ずこうでつかうもの。えのぐ、ねんどなど。

～ お家の方へ ～

筆箱の中

○えんぴつ5本(2Bが望ましい)

○赤青えんぴつ1本 ○ネームペン1本

○消しゴム 1こ ○じょうぎ 1本

○紛失する可能性が高いため、ランドセルの横にカギをつけるのはなるべく控える。そのためランドセルに入れる。キーホルダーは2つまで。

○筆圧や書き方など小学校では基礎の基礎を学ぶため、シャープペンシルは中学生になってからにする。

○学校にふさわしい筆記用具を持ってくるようにする。ぬいぐるみ(人形)などの華やかな筆入れは控える。筆箱は2年生までは、なるべく箱型のものを使うようにする。(令和5年度からの校則見直しで児童が中心となって話し合い、決定しました。)



はじまりとおわりには、しっかりとれいをします。

「おたがいにがんばりましょう。」「よろしくおねがいます。」というきもちでれいをします。

わすれずに
じゅんぴを
しよう

